

SIRA NEWS

仙台国際センターだより

6

June



イー アル サン チェス

「1、2、3、茄子！（ハイ、チーズ!）」

第6回 台南市青少年訪問団 集合写真

公益財団法人 仙台国際交流協会

Sendai International Relations Association (SIRA/さいら)

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山 仙台国際センター内

TEL 022-265-2211 FAX 022-265-2485 info@sira.or.jp

URL www.sira.or.jp

*SIRAは、仙台国際センターの管理・運営を行っています。

Information from SIRA

「とっておきの子育ての話」
ウェブサイトができました！



仙台国際交流協会（SIRA）では、仙台市内で子育て中の外国人の皆さんの参考となるよう、子育て支援情報「とっておきの子育ての話」をもとに、必要な情報を英語、中国語、韓国語に翻訳しました。「とっておきの子育ての話」は、子育てについてのお父さん・お母さんの悩みが少なくなるように、仙台市内の3つの保育所が協力して作った日本語のホームページです。

この子育て支援情報を、外国人市民の皆さんにもぜひ知っていただきたく、今回3ヶ国語で翻訳しました。子育てのアドバイスとしてぜひ参考にしてください。また、お子さんをお持ちの外国人市民の方に、ぜひお知らせください！

英語 <http://www.sira.or.jp/english/child/advice/index.html>

中国語 <http://www.sira.or.jp/chinese/child/advice/index.html>

韓国語 <http://www.sira.or.jp/korean/child/advice/index.html>

日本語 <http://www.sira.or.jp/japanese/child/advice/index.html>

世界の料理

オーストラリア料理



★ミート・パイ

細かく切った（もしくはミンチ）肉にグレービーソース、時には玉ねぎ、マッシュルーム、じゃがいもなどをパイ生地で包んで焼いた、オーストラリア伝統のファースト・フード。地域によって、さらにグリーンピースの濃厚なソースと食べる「パイ・フローター」などがある。

★ラミントン

四角いスポンジ・ケーキをチョコレートでコーティングし、ココナッツの粉をまぶしたもの。中には、ジャムやレモンクリームをサンドしているものもある。



＊ ＊6月・7月の仙台国際センター休館日＊ ＊

6月9日（月）、7月8日（火）

＊7月28日（月）は、交流コーナー図書室の閉室日

EVENT INFORMATION

仙台国際センターで今月行われる
国際関連イベントのご紹介です。

15
SUN

「日中交流事業 帰国報告会&交流会」

3月に中国で開催された大学生交流事業参加者による帰国報告会です。ワントン作り等の交流会も併せて開催します。

- ◆日時：6/15（日）13：30-16：00
- ◆場所：仙台国際センター 交流コーナー研修室AB
- ◆参加費：無料(要予約) ◆対象：どなたでも
- ◆申込〆切：6/13（金）
- ◆主催/問合/申込：国際交流基金日中交流センター
TEL：03-5369-6074 FAX：03-5369-6043
E-mail：uketsuke@chinacenter.jp

21
SAT

交流コーナーイベント「Play School」

仙台で活躍するALT（外国語指導助手）3名が、小学生の皆さんと英語でゲームをしたり、物語を読んだり、他にも楽しい企画がもりだくさんです。

- ◆日時：6/21（土）14：00-15：30
- ◆場所：仙台国際センター 交流コーナー研修室AB
- ◆対象：小学校1年～4年生くらいの子ども（要保護者同伴）◆定員：子ども30名 ※先着申込順
- ◆参加費：無料(要申込)
- ◆申込受付期間：6/4（水）～6/18（水）
- ◆主催/問合/申込：SIRA TEL：022-265-2471
E-mail：info@sira.or.jp

29
SUN

七夕交流会～日本の伝統文化を体験しよう～

- ◆日時：6/29（日）12：00-15：00
（14：30受付終了）
- ◆場所：仙台国際センター 1F 交流コーナー研修室AB
- ◆対象：外国人市民及び日本伝統文化を通じた国際交流に興味のある方
- ◆参加費：5歳以上1人当たりの料金
◎共通券 前売り：200円/当日：300円
*共通券1枚でお茶、折り紙、書道の体験が可能
◎生け花券 300円（先着24名）
◎ゆかた着つけ券 300円（先着20名）
- ◆前売券は6/28（土）まで仙台国際センターで販売
- ◆主催：日本伝統文化の会、SIRA
- ◆問合：SIRA TEL：022-265-2480
E-mail：plan2@sira.or.jp

せんだい地球フェスタ 2014



多文化共生や国際交流・協力などの団体が集合し、世界の文化を体験できる催しです。一緒にフェスタを盛り上げてくれる方を募集します！

ボランティア募集

- ◆募集人数：100名程度
- ◆活動内容：企画、インフォメーション、記録、ステージ、エコ、ブース、日本語弁論など
- ◆応募〆切：6/27（金）定員になりしだい締切
- ◆応募方法：所定の申込用紙（HP*からダウンロード可）に必要事項を記入し、e-mail・持参・郵送・FAXで事務局へ。

★★せんだい地球
フェスタ2014★★
日時：8/3（日）
10：00-
16：00
場所：仙台国際センター

マスコット
キャラクター
「チッキー」

参加団体募集

- ◆対象団体：☆イベントの趣旨に賛同し、開催にあたり協力できる団体
☆「多文化共生・国際交流・国際協力等の活動を行う団体
☆電力供給不足や地球環境に配慮しエコに協力できる団体
※営利、宗教、政治に関する活動目的の場合は参加できません。
- ◆参加協力金：(1)物販がある場合：2,500円
(2)物販がない場合：1,500円
※2つ以上の企画を行う場合はそれぞれ協力金が必要。
- ◆申込〆切：6/6（金）
- ◆申込方法：所定の申込用紙（HP*からダウンロード可）に必要事項を記入し、e-mail・持参・郵送・FAXで事務局へ。
※新規参加の場合は規約等の団体概要/活動内容がわかる資料を添付

*せんだい地球フェスタ2014ホームページ

<http://senfes2014.jimdo.com/>
問合/申込：せんだい地球フェスタ実行委員会
事務局(SIRA内) TEL:022-265-2480

日本語弁論大会出場者募集

- 日本語を学ぶ外国人市民の皆さん！あなたの想いを日本語で伝えてみませんか？
- 日時：8/3（日）せんだい地球フェスタ開催時（時間は未定）
 - 発表内容：5分間程度で未発表のもの（テーマ自由）
（例）『留学生活で学んだ日本語』、『私の好きな仙台』など
 - 出場資格：仙台市または近郊に住む外国出身の方
※過去の上位入賞者は参加できません。
 - 定員：8名程度（応募多数の場合は選考）
 - 申込方法：申込用紙と発表原稿をSIRAまで郵送か持込で
 - 申込〆切：6/25（水）
 - 問合/申込：SIRA TEL：022-265-2480
E-mail：soneda@sira.or.jp



今月のピックアップ

謝謝台南！

第5・第6回 台南市青少年訪問団報告

仙台市の*交流促進協定都市である台湾・台南市より、東日本大震災の復興支援の一環として招待を受け、2012年2月より始まった台南市青少年訪問団。全9回のうち第5回目は大学生26名、第6回目は高校生等28名がそれぞれ7泊8日間、台南市を訪問してきました。

■第5回訪問団 2014年2月20日～28日



☞日本紹介イベントにて

現地2日目、仙台の学生が台南市民向けに日本紹介のイベントを行いました。東日本大震災で台湾の方から受けたたくさんの支援に対する御礼の気持ちを込めて、現在の復興の様子を紹介しました。その他、だるま落としや折り紙などの伝統的な遊びのコーナーや、ひらがなで名前を書いてプレゼントする習字コーナー、浴衣試着体験はイベント開始前から長蛇の列で、始終大賑わいでした。仙台七夕まつりを紹介するコーナーでは、台南の方にも短冊を書いてもらいました。その短冊は、今年8月の仙台七夕まつりの期間、国際センターに飾る予定ですので楽しみに！

■第6回訪問団 2014年3月23日～30日

現地2日目、障害者福祉施設にてボランティア活動を行いました。施設の方とゲームをしたり、ちらし寿司やずんだ餅、味噌汁を作るなどして交流を深めました。お昼には、そのちらし寿司等を施設の皆さんと食べました。おかわりが出るほど盛況で、一同大喜びでした。少しではありますが、震災の時の恩返しのできた活動となりました。



☞ボランティア活動の様子

毎日盛りだくさんのスケジュールでしたが、参加した学生たちは皆充実した顔で帰国しました。貴重な機会を与えてくださった台湾の企業・奇美財団と台南市のみなさまに心より感謝

いたします。

これまで実施した台南市青少年訪問団の報告書はSIRAホームページからダウンロードできます。

(<http://www.sira.or.jp>→SIRAトップ>SIRAの活動

>出版物>報告書)



☞これまでの報告書
(交流コーナーでも閲覧可能)

*台南市：台湾の古都。台湾第4の都市。仙台市とは、七夕を通じた市民交流の高まりを契機に2006年1月20日に交流促進協定を締結し、活発な市民交流が行われています。

報告

国際友好都市ダラスより来仙！

4月8日～11日の4日間、ダラス・フォートワース日米協会副会長のイレーン・ブラウニング氏が来仙しました。

ダラス・フォートワース日米協会は、東日本大震災発生直後よりダラス市民に呼びかけ、募金活動を定期的に行ってください、多くの支援をしていただきました。

ダラス市(*)からの支援は、特別養護施設「杜の里」への支援に使われる予定で、イレーン氏は杜の里をはじめ、若林区の被災地区などを視察しました。



☞「杜の里」にて

また、3.11後に始まったTOMODACHIプロジェクト(※)の支援を受けて、昨年7月にダラス市を訪問した高校生とも面会しました。震災後の仙台やダラス、自分たちの将来について懇談しました。

今年は、去年からのTOMODACHIプロジェクトでダラス市からの高校生受入も予定されています。今後ますますダラスとの交流が続いていきそうです。

(*)アメリカ・ダラス市とは、1997年8月29日に国際友好都市締結をしています。

(※)TOMODACHIプロジェクトとは、東日本大震災からの日本の復興を支援するとともに、長期にわたり日米間の文化的・経済的な結び付きを強化し、友好を深める形で、両国の将来の世代に投資する官民パートナーシップです。

市民のCHIKARA



地域でがんばる団体と市民をつなぐ“団体活動紹介コーナー”です。今回ご紹介するのは、国際センターを拠点に活動しているボランティア団体「外国人支援の会 OASIS」です。代表の反田さんにお話を伺いました。

外国人支援の会 OASIS

Q：いつ、どのような目的で設立された団体ですか？

A：1990年、仙台市の国際交流を担う市民団体「I.V.ネットワーク」の相談支援部会として活動開始。2007年に「外国人支援ボランティアグループ 相談支援の会 OASIS」を設立し、今年度から「外国人支援の会 OASIS」と改名して活動を継続しています。

Q：団体名の由来はなんですか？

A：OASISは「Open Assist & Support In Sendai」と「心の癒し」を掛けています。

Q：具体的な活動内容を教えてください

A：仙台国際センター交流コーナーで情報提供・相談受付の窓口を開設しています。また、日本語や日本の生活に不慣れた外国人に付き添って公的機関・教育機関・病院などに出向いてサポートする付添ボランティア(TSUKIBO)の派遣も行っています。TSUKIBOの実績は年50~60件です。



Q：今後の活動について

A：一緒に活動する仲間が増えるといいなと思っています。

Q：読者の方々へメッセージをお願いします！

A：通年活動なので、大変な事もありますが、皆それぞれ様々な知恵と経験を持つ個性派揃い。機動力ある支援を心がけ、自分達が社会に役立てる喜びを感じながら今後も頑張っていきます！皆さんよろしく！



＜交流コーナー窓口でのOASIS対応時間＞
月曜日:13~16時/火曜日~金曜日:10~16時



このコーナーでは、仙台で国際活動をする市民が活動紹介や仙台の魅力を伝えます。

今回は、交流コーナー利用者のルシアーノさん！東北大学で天体物理学を勉強しているスペイン出身の留学生です。

皆さんこんにちは！ルシアーノです。僕はアルゼンチンで生まれ、11歳のときにスペインに引っ越しました。6年前、交換留学生として仙台東高校で1年間勉強し、その間は日本人のホストファミリーのもとで過ごしました。仙台での暮らしをとて気に入ったので、日本を離れたあともこの美しい街へと戻るチャンスを探していました。そして今、僕は再びここにいます！今回は、東北大学の留学生として仙台に戻ってきました。

日本人ではない僕たちは、日本という国に対して「伝統と近代が調和し、共存している国」という印象を抱いています。特に、仙台ではその傾向が顕著です。仙台は都会で、最近の流行に追いつくのに苦労することはありませんし、海外でも人気の高い日本製のカメラなどの電化製品を簡単に手に入れることもできます。それと同時に仙台は緑にふれ、木々や公園がいたるところにある自然豊かな街でもあります。榴ヶ岡公園や広瀬川で気軽にピクニックを楽しむことができるのも、間違いなく仙台の魅力のひとつです。



また、仙台は国際的な都市としてもよく知られています。僕はここで日本のあらゆる地域の人々と出会いました。彼らがなぜ仙台に引っ越してきたのかを聞くことはとても興味深いです。ある人は勉強のため、また仕事のため…そして中には「仙台が好きだから」という理由で引っ越してきた人もいました。日本国内だけではなく、世界各国の人が仙台に住んでいます。6年前と比べると、外国人市民の存在がより身近になってきたように感じます。異文化に接し、そこから様々なことを学ぶことのできる仙台の環境は素晴らしいと思います。



僕は、活気と楽しさに満ちた仙台の中心部が大好きです。街の中を散歩しながら、小さなカフェを探ることが僕の楽しみです。おいしいコーヒーがあるところにはいつも、それによく合う手作りのお菓子があります。是非、皆さんも仙台でそれぞれのお気に入りの場所を見つけてみてくださいね！